

【特集】

スポーツの力で野田を元気に

日本代表として世界に挑戦

古賀彩花さん(テニス)

古賀彩花^{あやか}さんは、小学6年生だった平成28年には、「全国小学生テニス選手権大会」で女子シングルス準優勝、「全日本ジュニア



古賀 彩花さん

南部中1年・みずき四丁目在住

テニス選手権」の12歳以下部門優勝など、テニスで多くの榮譽に輝きました。

古賀さんがテニスを始めたきっかけは、7歳のときに父親の勧めで市内のテニスクラブに加入したことです。

現在のように古賀さんが大会に出場するきっかけになったのは、その時に見た先輩たちへの憧れ。

「クラブの仲間たちが大会に出場していたのを見て、私も大会で活躍したいと思ったんです」と古賀さんはテニスを始めた頃を懐かしみます。

中学校に進学すると、大会のカテゴリも変わり、年上の選手と対戦することが多くなりました。

「以前から海外で試合をしていたので、強くなるために必要なことはわかっていました。今はランニングや筋トレで体づくりです」と話す古賀さんは、週6日練習しています。

「憧れの選手は、デンマークのウォズニアッキ選手で、日本の大会にも出場していますが、そのプレイスタイルが好きなんです。パワープレイで勝負しつつも、相手に流れがいったなと思うと緩いボールで返して緩急をつけたり、ネットプレーで揺さぶったりと、華があるプレーをするんです。観戦していても、思わず声が出て拍手しちゃいます」と古賀さん。

「私もパ

ワーで攻めていくプレイスタイルなんです



すが、自分より体格に勝る選手と対戦した経験から、攻め一辺倒では難しいことを体感しました。ウォズニアッキ選手のように、相手の意表を突くプレーを混ぜることで、試合を優位に進めたいです」と戦略を話す古賀さんは続けて、「それに、そういった試合の方が、観客の皆さんも興奮してくれますね。なにより、プレーしている私自身も楽しいですから」と笑顔を見せます。

平成29年10月に開催された「RSK全国ジュニアテニス大会」の女子シングルスで優勝したことから、平成30年4月にタイで開催される「ワールドジュニアアジア・オセアニア予選大会」に古賀さんが日本代表として出場することが決定しました。

「日本代表として出場するので、優勝目指して戦ってきます」と決意を語ってくれました。